

レイコの 出雲 〈美術〉 留学

木村幸恵

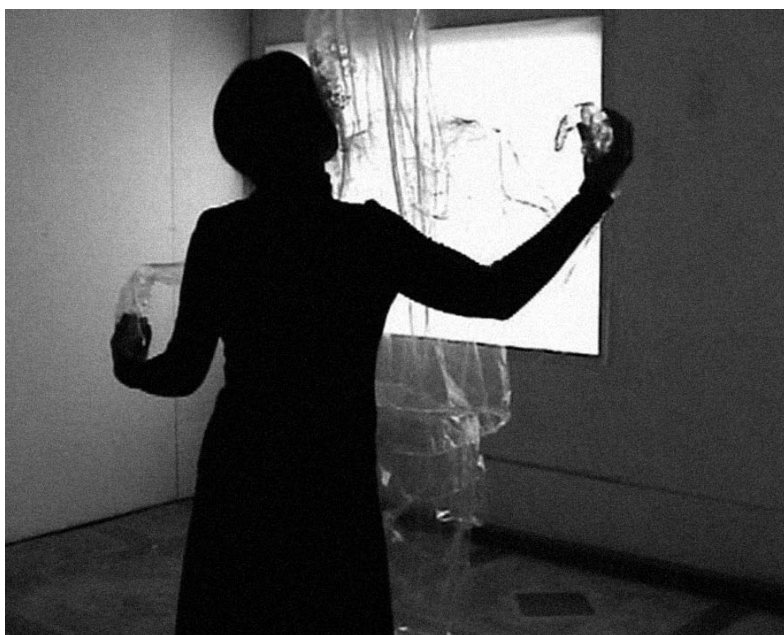
2009.11.7 (sat) — 30 (mon)

手銭記念館

つづくこと・なくなること・くりかえされること

2009





木村幸恵「ダンスレッスン」2005 ヴィデオ

レイコの出雲 〈美術〉留学

木村幸恵

11月7日(土) — 30日(月)

会場：手銭邸ほか | 手銭邸は9:00～16:30開館

現代美術作家・木村幸恵が「レイコ」として出雲エリアへ
〈美術〉留学にやってきます。レイコは手銭邸にアトリエを
構え、留学の成果を映像、立体など様々なメディアで展示します。
また大社町を舞台にイベント、ワークショップを行います。

「レイコ」とは / 一人の人物というよりもむしろ、高次元的な関係
を持つ泉のようなもの / 仮の名前としての存在 / 行為する任意
の個 / <見る/見られる>の間に湧き上がる『麗子像』のつむじの
感触、あるいは<私>の現れの矛盾を物質的に表現した「私幽霊」の(サラ
ラップ製の)皮膚のゆらぎ / それらの動きつづける様相をアート(と
いうインスティチューション)そのものに適用させながらデザイン /
失われつつある<美術>という語を目印に、多様化・細分化されていく
アートの舞台を渡り歩く / 時空をかける少女「レイコ」 / 訪れ
た場所や事物の自明性を揺るがす / アート / 止むことのない
問いの場として、個々人の相互の営みの現場へと移行 / レイコ /
自らがどこから来た何者であるか / たずねつづける /

—木村幸恵 制作ノートより

木村幸恵 / Sachie KIMURA

- 1975 北海道函館生まれ
- 1999 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業(根岸奨学金取得)
(在学中ニューヨーク・クィーンズ美術館インターンシップ参加)
- 2001 武蔵野美術大学大学院造形研究科油絵コース修了

〈主な展覧会〉

- 2009 「所沢ピエンナーレ」(埼玉) 「まひるの夢」川口市立アトリア(埼玉)
- 2008 「駅2008 鶴見線に降りたアートたち展」(神奈川)
「所沢ピエンナーレ・プレ展/引込線」(埼玉)
- 2007 「Tokyo WALTZ」αMプロジェクト/東京画廊(東京)
- 2006 個展「研究展、ゆうれい レッスン2」KIMCo.JAPAN(東京)
- 2005 個展「逃走インスティチューション闘争」GFAL、武蔵野美術大学(東京)
- 2004 個展「コッカ、カイガ」KIMCo.JAPAN(東京)
- 2002 「アーツスカラシップ2001 南條史生部門入選展」exhibit LIVE(東京)



イベント「レイコが大社にやってきた」

留学開始にあたり、レイコによる
トークイベントを開催します。

-日時:11月3日(祝・火) 15:00～16:00

-会場:島根県立古代出雲歴史博物館
エントランスホール

-参加費:無料

ワークショップ「レイコとのデッサン会」

人を描く、人に描かれるという体験をしてみませんか? レイコと一緒にお互いを描き合います。
完成作品は、アトリエに展示します。

-日時:11月8日(日) 12:45～16:30

-会場:手銭邸

-参加費:500円/材料費として(別途入館料が必要です)

-定員:20名 *要予約

美術館の夕べ「夢と静」

第一部:能楽師と大社小学校6年生有志の共演による「夢十夜」より第三夜の上演

第二部:能楽師と木村幸恵とユウレイの共演による「二人静」の上演

-日時:11月9日(月) 17:30開場 18:00開演
20:30終演予定

-会場:手銭記念館 第二展示室

-参加費:無料(別途入館料が必要です)

-定員:100名 *要予約

安田登(やすだ・のぼる)

1956年千葉県生まれ。ワキ
方の重鎮・錦木岑男に師事
し、下掛宝生流ワキ方音楽
師となる。国内外を問わず舞
台をつとめ、小学生から大学
生までの創作能、ワークショッ
プ、朗読ライブも頻繁に開催
している。

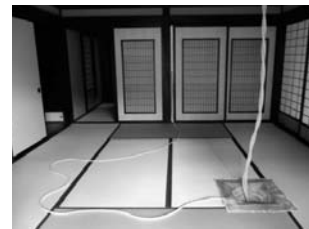




木村幸恵「ジ・アドベント」2000 カラー写真

「つづくこと・なくなること・くりかえされること」は美術、文化、伝統について再考することを目的に2008年スタートしました。2回目となる2009年は江戸時代に建造された手銭邸をメイン会場としながら、大社町全体が舞台となります。出雲地方が「神在月」となる旧暦10月、全国の神々が集まるように人々が集い、身の回りにあるこれからも伝えられていくこと、失われていくもの、循環していくことについて考え、言葉を交わす場所が生まれます。

「つづくこと・なくなること・くりかえされること2008」の様子
(上:コンサートの様子/下:高木久美「深く、奥底まで」2008)



講演／フォーラム

「文化による地域振興とは？」

—アートと美術館の視点から—

青森県十和田市で街を元気にすべく、アート・食・デザイン・歴史・観光などあらゆる方面での知識と経験を生かして活動している小林ベイカー央子さんをお迎えしてお話をさせていただきます。今まで続いてきた町、これからも続いていく町、町とどのように関わり、どのように行動していくかについて考えます。

-日時:11月23日(祝・月) 15:00~18:00

第一部:メインスピーカーによるトーク

15:00~16:15

第二部:パネラーを交えてのフォーラム

16:30~18:00

-メインスピーカー:小林ベイカー央子(十和田市現代美術館・特任館長) / パネラー:谷川公朗(mtt代表)、松田龍太郎(オアゾ代表)、手銭和加子(つづくこと09企画担当)

-会場:鳥根県立古代出雲歴史博物館 講義室

-定員:120名

-参加費:無料



榎宅聡(つきたく・さとし)

能楽森田流笛方。社団法人能楽協会会員。1961年鳥根県安来市生まれ。1993年、国立能楽堂第2期研修修了。故・寺井啓之(重要無形文化財総合指定)、中谷明(重要無形文化財総合指定)に師事。

トークセッション

「レイコと先生の公開研究会」

第一部:レイコの研究発表

「遠近法とユウレイと麗子像」

第二部:伊集院敬之による講演

「<作品を見る>から<作品に見られる>へ」

-日時:11月21日(土) 15:30~18:30

-会場:手銭記念館 第二展示室

-参加費:無料(別途入館料が必要です)

-定員:50名 *要予約



伊集院敬之

(いじゅういん・たかひこ)

1969年生まれ。京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科博士後期課程単位取得退学。現在、鳥根大学法文学部言語文化学科准教授。専攻は映像論、デザイン論など。

小林ベイカー央子(こばやし・ベイカー・ようこ)

1966年生まれ、青森県十和田市出身。日本大学芸術学部放送学科卒業。1989年(株)仙台放送にアナウンサーとして入社。1997年よりフリーキャスターとして、NHK衛星第一放送『ワールドリポート』、フジテレビ『スーパーニュース』などに出演。2008年から十和田市現代美術館・特任館長として、青森県十和田市の広報活動とまちづくりに関わっている。



谷川公明(たにがわ・きみあき)

1974年生まれ。東京理科大学大学院理工学研究科建築学専攻修了。卒業後、現場監督を経てナンジョウアンドアソシエイツに勤務、十和田市野外芸術文化ゾーン構想を担当。退社後、インテリア会社で働きつつ、現代アートと社会を繋げる活動として、展示会の企画やまちづくりに関わる。



松田龍太郎(まつだ・りゅうたろう)

1977年生まれ、青森県弘前市出身。慶応大学環境情報学部で世界遺産登録のための事前調査、街活性化プランづくりなどを中心に建築を学ぶ。その後、NHKに入局、カメラマンとして全国各地を回る。現在は、飲食店プロデュースの会社に転職、「街に必要な場づくり」を目指して修行中。



手銭記念館ワークショップ

「江戸時代の婚礼の献立をつくろう」

婚礼献立の古文書を読み解きながら、日本料理「登わ」の安藤登さんを講師に迎え、婚礼料理を再現します。江戸時代の「祝いの味」を味わってみませんか?

-日時:11月15日(日) 10:00~14:30

-参加費:1000円/食材費として

-会場:手銭記念館→

→大社コミュニティセンター 調理室

-定員:15名 *要予約

学芸員によるトーク

企画展「銅器〜形を楽しむ、用途を楽しむ〜」と出雲地方の美術・工芸について、展示品を前に手銭記念館学芸員が説明します。

-日時:11月14日(土) 14:00~14:45

企画展「銅器〜形を楽しむ、用途を楽しむ〜」

江戸時代に作られた池坊華道の花器8点を含む花器、茶道具、文房具など、銅で作られた器40点あまりを展示します。

-会場:手銭記念館 第一展示室

-会期:10月1日(木)―11月30日(月)

クロージングイベント

「レイコが大社を去っていく」

レイコが出雲<美術>留学を終えるにあたり報告会を行います。

-日時:11月29日(日) 16:00~18:00

-会場:手銭記念館 第二展示室

-参加費:無料(別途入館料が必要です)

申し込みと参加方法

メール: info@tezenmuseum.com

電話/ファックス: 0853-53-2000

まで参加希望イベントとお名前をお知らせください。

SCHEDULE スケジュール

11月	イベント・ワークショップなど	大社町内の行事
3日 祝・火	15:00-16:00「レイコが大社にやってきた」	○古代出雲歴博・秋まつり (鳥根県立古代出雲歴史博物館)
4日 水	休館日	
7日 土	展覧会オープン日 レイコの留学中の部屋(手銭邸)の公開 15:00- FMいずも公開収録 19:00- オープニングレセプション	
8日 日	12:45-16:30 ワークショップ 「レイコとのデッサン会」	○ワークショップ 「天平アートを楽しもう」 (鳥根県立古代出雲歴史博物館)
9日 月	18:00-20:30 美術館の夕べ「夢と静」	
10日 火	休館日	
14日 土	14:00- 学芸員によるトーク	
15日 日	10:00-14:30 ワークショップ 「江戸時代の婚礼の献立をつくろう」	
17日 火	休館日	
21日 土	15:30-18:30 トークセッション 「レイコと先生の公開研究会」	
23日 祝・月	15:00-18:00 講演/フォーラム 「文化による地域振興とは? —アートと美術館の視点から」	○古伝新嘗祭(出雲大社)
24日 火	休館日	
26日 木		○神迎祭(稲佐の浜-出雲大社) ○神迎のおもてなし(神迎の道) 地元有志による飾り付けやお店が出ます!
29日 日	16:00-18:00「レイコが大社を去っていく」	○ワークショップ 「天平を味わおう」 (鳥根県立古代出雲歴史博物館)
30日 月	展覧会最終日	

開催期間 = 11月7日(土) - 11月30日(月)

11月の休館日は左のスケジュールをご参照ください。

会場 = 手銭邸 [鳥根県出雲市大社町杵築西2450]

※その他、手銭記念館、鳥根県立古代出雲歴史博物館などでイベントが開催されます。

入館料 = つづくこと09パスポート 大人1000円*

※手銭邸と手銭記念館に開催期間中何度でも入館できます。

○手銭邸のみ入館 大人500円 ○手銭記念館のみ入館 大人600円

[開催期間中に限り、高校生以下は無料で入館できます]

※11月7日は無料で入館できます。

主催 = 財団法人手銭記念館

助成 = しまね文化ファンド、エネルギー文化・スポーツ財団

協力 = 鳥根県立古代出雲歴史博物館、

鳥根大学法文学部言語文化学科伊集院敬行研究室

後援 = 出雲総合芸術文化祭実行委員会、NHK松江放送局、

山陰中央テレビ、BSS山陰放送、出雲ケーブルビジョン、

山陰中央新報社、鳥根日日新聞社、FMいずも

Continue, Disappear, Regenerate 2009

Dates: 7-30 November 2009 Closed on Tuesdays

(Closed on the following day if a holiday falls on a Tuesday)

Venue: House of Tezen

[2450 Kizukinishi Taisha-cho Izumo-shi Shimane Japan]

*Some of the events will be held at Tezen Museum and Shimane

Museum of Ancient Izumo

Admission: CDR2009 Passport Adult 1000 yen*

*The passport includes admission to the House of Tezen and Tezen

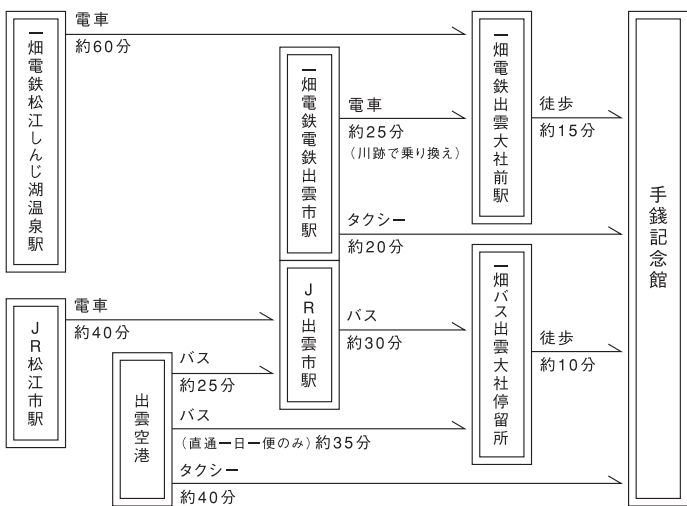
Museum, and is valid throughout the exhibition period.

○House of Tezen Adult 500 yen ○Tezen Museum Adult 600 yen

[High School students and under receive free admission during the exhibition period.]

*Free admission on November 7th (sat)

手銭記念館への交通案内と地図



各地から出雲市へのアクセス、その他観光情報は以下のサイトでご確認下さい。

<しまね観光ナビ> <http://www.kankou.pref.shimane.jp/>

<出雲市観光協会> <http://www.izumo-kankou.gr.jp/>

<大社町観光協会> <http://www.kankou-taisha.jp/>



地図制作協力: buildinglandscape

鳥根県出雲市



〒699-0751 鳥根県出雲市大社町杵築西 2450-1 TEL/FAX:0853-53-2000

2450-1 kizuki-nishi Taisha-cho Izumo-shi Shimane 699-0751 Japan

TEL/FAX:81-(0)853-53-2000 E-mail: info@tezenmuseum.com

www.tezenmuseum.com